

## 私が選んだ平成27年舞鶴市10大ニュース



新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり、平成27年の本市10大ニュースを発表します。ニュースの選び方は昨年と同様、市役所の12部課において、それぞれの担当部署での重大ニュースを選定し、集められた84のニュース(重複含む)から、私自身が舞鶴市10大ニュースを選びました。

その結果、①引揚記念館所蔵資料のユネスコ世界記憶遺産登録決定②京都縦貫自動車道の全線開通③全国茶品評会かぶせ茶の部4年連続産地賞受賞(団体賞全国1位)④舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定⑤京都府北部地域連携都市圏形成推進宣言⑥舞鶴市教育振興大綱策定⑦子育て交流施設「あそびあむ」開設⑧舞鶴YMCA国際福祉専門学校が開校⑨高機能消防緊急指令システム完成⑩市長と教育委員からなる「総合教育会議」を設置を選びました。

平成27年は本市では大きな自然災害が無く、これまでの積み重ねの事業が実った、まさにターゲットイヤーに相応しい素晴らしい年でありました。京都舞鶴港が機能強化され、さらに近畿圏の高速道路ネットワークが完成し、今、舞鶴市を含む京都府北部5市2町が大きく飛躍する時代が訪れています。舞鶴版地方創生並びに京都府北部地域の連携型地方創生に積極的に取り組み、来年も素晴らしい10大ニュースを報告したいと思っています。

## 身近な豆知識 静電気注意報 衣服の静電気に気を付けて



「パチパチ!」。静電気って嫌ですね。

物には(+)に帯電しやすいものと、(-)に帯電しやすいものがあり、順に並べたものを帯電列と言います。衣服の帯電列は(+)の順から、

(+) 羊毛 → ナイロン → 絹 → レーヨン → 綿 →  
アセテート → ポリエステル → アクリル (-)

です。この序列が離れている繊維どうしを摩擦するほうが、近い繊維どうしを摩擦するより帯電圧が高くなり静電気が発生しやすくなります。ぜひ衣服の組み合わせの参考にしてください。

### 衣服の組み合わせで「良い例」と「悪い例」

- ◆良い例…レーヨンのセーターと綿のシャツ  
(静電気が発生しにくい)
- ◆悪い例…羊毛のコートとアクリルのセーター  
(静電気が発生しやすい)

《消費生活センター》



## ～ 今月のおすすめ本 ～



色で巡る日本と世界  
くらしの色・春夏秋冬  
色彩文化研究会

四季折々の季節の色、年中行事にまつわる色、装いや住まい、記念日のように身近な生活を彩る色など、「色」についての不思議や由来をわかりやすく紹介します。色を通して日本と世界の文化を知ることができる本です。《東》



18歳からの選挙 Q & A  
杉浦真理 ほか

いよいよ18歳選挙権が導入されますが、不安に思われる未成年の方もいるでしょう。本書はQ&A形式で解説しており、「高校生が選挙運動をしてもいいのですか?」など素朴な疑問に答えています。家庭でも話題にして考えてみませんか。《西》

▶詳しくは、東図書館(☎62・0190)  
西図書館(☎75・5406)へ。

## 生む力を育て 学びの芽生え 小学校以降の学びの土台をつくる



幼児期の教育は直接的・具体的な体験の中で活動が展開され、幼児自らが考え・判断し・行動する場面が多く与えられることで体験は豊かなものになります。そして、小学校以降の学習の場で幼児期の体験が抽象化し、一般化して理解を深める基礎を担います。

例えば、「舟づくり」の遊びは材料を選択し組み合わせ方を考え、失敗を繰り返しながら自身が納得できる作品が完成するまで取り組む活動です。作品の目的「飾る」「浮かべる」で材料などが異なり、目的に応じて、どんな方法があるかを考えます。幼児は意識していませんが、「舟づくり」をする中で形・重さ・浮力・動力・風力などの概念に触れる体験をしています。

遊びの中で幼児自身が気づき、発見し、試行錯誤することで遊びの価値は高まります。遊びに没頭できる十分な時間・空間・材料があり、遊びの挑戦を支え、必要に応じて一緒に考えてくれる先生や仲間がいることで遊びは深まり発展していきます。

小学校以降の「学び」に意欲を持てるよう、幼児期には楽しみながら遊びに参加し、自らが課題を見出し解決する活動が大切です。《教育委員会、健康・子ども部》



## 年の初めに 人権問題を身近なことと考える

さいた さいた チューリップの花が  
ならんだ ならんだ 赤 白 黄色  
どの花 みても きれいだな

ご存じ「チューリップ」の歌です。文化庁と日本PTA全国協議会が、親子で長く歌い継いでほしい童謡・唱歌として選んだ「日本の歌百選」の一つで、唱歌作家の近藤宮子さんが昭和5年に作詞したものです。

「どの花みても きれいだな」という歌詞について近藤さんは「何ごとにも良いところがあるものです。とくに弱いものには目を配りたいという自分の思いを込めました」と語っていたそうです。親しみやすい歌詞と、単純明快な旋律で小さな子どもでもすぐに覚えることができるこの歌に、こんな願いが込められていました。昭和5年といえば、日本が第二次世界大戦への助走を始めた時代であり、近藤さんは自分の思いをチューリップの花に重ねて訴えたのかもしれない。

チューリップの歌詞を人に置き換えて考えると、「人にはそれぞれに個性、特性があります。

その人らしさをお互いに認め合っていきましょう。この世に必要なとされない人は一人もいないのです」というメッセージが伝わってくるようです。「人権の世紀」といわれる21世紀に入って15年が過ぎましたが、児童や高齢者への虐待、東日本大震災における風評被害、さらには、情報化社会におけるインターネット上の人権侵害など、人権問題はますます複雑・多様化しています。

「人間として誤らずに生きていくためには、常に相手の立場に立ってものを考えようとする優しさや思いやりを持つことが大切だ」という言葉を聞いたことがあります。言い換えると「自分がされて嫌なことは人にもしない」ということなのではないでしょうか。

人権は、すべての人が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利であり、人間が人間らしく生きるために生まれながらに持つ権利です。新しい年の初めに、今一度、誰もが尊重される社会にするために、私たちは何を大切にしていかなければならないのか考えてみませんか。

《人権啓発推進室》

## 全国大会等出場者、大臣表彰の受賞者を紹介

### 大臣表彰を受賞

◆厚生労働大臣表彰(民生委員優良活動団体表彰)

舞鶴市森民生児童委員協議会(会長:村尾 幸作氏)  
子育て世代や高齢者向けのサロンの開設など、地域福祉への長年の功績が評価されました。

◆文部科学大臣表彰(教育者表彰)

中舞鶴幼稚園 園長 眞木 康則氏(67歳、余部上)  
地区幼稚園の課題への取り組みや諸行事の推進など京都府の幼児教育の振興に大きく寄与されました。

### 全国大会で優勝

☆レディースカップ全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会(11月19日~21日、岩手県)

高校の部48kg級優勝  
井崎 茅夏さん(海洋高2年、城北中出身)

### 全国大会出場

☆国民体育大会ウエイトリフティング競技  
(9月27日~10月1日、和歌山県)

瀬野 郁希さん(九州国際大2年、白糸中出身)



我が家の  
タカラモノ  
将来の夢は  
世界をまたぐ漁師さん

言上 いさな  
敢海くん(左、2歳4か月)

掲載する3歳までの子どもの写真を募集中。  
1月12日(火)までに持参が郵送。

【応募に必要なもの】

- ◆応募者の住所 ◆応募者の氏名 ◆電話番号
- ◆お子さんの氏名とフリガナ ◆お子さんの性別
- ◆お子さんの写真(返却できません) ◆お子さんの生年月日
- ◆一言コメント(様式は自由)

▶詳しくは、広報広聴課(☎66・1041)へ。

電子メールでも受け付け中。下記のメールアドレスに送信してください。  
「koho@post.city.maizuru.kyoto.jp」 ※容量は1メガバイト以内